

# 科学史技術史通信

特定非営利活動法人  
科学史技術史研究所

田中・山崎・飯田・菊池・道家文庫

No.28

2017.11.25

165-0027 東京都中野区野方1丁目29番1-B101

Website URL: <http://ihst.jp/> e-mail: [ihst@ihst.jp](mailto:ihst@ihst.jp)

## 目次

ゴットフリート・ワグネル没後125年

記念講演会 堤 憲太郎・・・

3・11の意味・・・荒川文生・・・2

### 科学史・技術史の動向

21世紀に於ける電力系統技術調査専門  
委員会設置（電気技術史技術委員会）

### 資料紹介・

日本における原子力発電の歴史…………… 5

## 『ゴットフリート・ワグネル没後

### 125年記念講演会』

堤 憲太郎

ゴットフリート・ワグネルの名をご存じの方は多いと思われるが、先日、2017年11月8日（水）に東京青山のドイツ文化会館において、ワグネル没後125年の記念講演会が開かれた。講演会はワグネルの母国ドイツのOAG・ドイツ東洋文化研究協会とワグネルゆかりの東京工業大学の共催で蔵前工

業会、在日ドイツ商工会議所、ドイツ大使館などの協力と後援でおこなわれ、講師に科学史家でワグネルの研究でも知られる道家達将（東京工業大学特命教授、名誉教授）を迎えておこなわれた。

講演題目は「ゴットフリート・ワグネルの日本における貢献」－日本の陶芸を愛し、近代化・工業化に尽くしたDr. ワグネル－であり、道家教授は

「ドクター・ゴットフリート・ワグネル（Dr. Gottfried Wagener, 1831-1892）は、

ドイツ人で優れた科学者・技術者であり、また陶芸家であって、1868（明治元）年、37歳のとき日本に来て、日本の科学、技術、芸術とくに陶芸の近代的な発展に大きな貢献をし、日本で亡くなった人である。・・・その内容は、従来の経験に基づく日本の陶芸・製陶を、先端的な西洋科学・技術を取り入れることによって質・量ともに飛躍的に高め、より優れた芸術作品、また優れた工業製品を生む基礎を

築いたことである」

と紹介している。講演は夜6時半から始められたが、講演にはワグネルの略年譜が配布され、1831年ドイツ北部ハノーファー（Hannover）での生誕から1892年東京駿河台の自宅で61歳での永眠、青山墓地に埋葬されたことまでかなり詳細に記載された内容に沿う形で約1時間半にわたり丁寧に進められた。ワグネルに就いて概略述べると、ワグネルはゲッティンゲン大学で21歳の時に数学（指導教官ガウス）で博士号を取得

# 3・11の意味

荒川文生（地球技術研究所・代表）



## 1. 技術史研究と技術倫理

.....  
.....

## 2. 電気学会報告書

.....  
.....

.....  
.....

## 3. 調査経緯と反省

.....  
.....

## 4. 今後の展望

.....

**科学史技術史の動向**  
21世紀に於ける電力系統技術調査専門  
委員会設置

.....  
.....

**資料紹介**  
『日本における原子力発電技術の歴史』  
同調査専門委員会篇  
（『電気学会技術報告』第 1356 号）  
(2016/5)

# 科学史技術史通信

特定非営利活動法人  
科学史技術史研究所

田中・山崎・飯田・菊池・道家文庫

No.28

2017.11.25

165-0027 東京都中野区野方1丁目29番1-B101

Website URL: <http://ihst.jp/> e-mail: ihst@ihst.jp

## 目次

ゴットフリート・ワグネル没後125年

記念講演会 堤 憲太郎・・・

3・11の意味・・・荒川文生・・・2

## 科学史・技術史の動向

21世紀に於ける電力系統技術調査専門  
委員会設置（電気技術史技術委員会）

## 資料紹介・

日本における原子力発電の歴史…………… 5

## 『ゴットフリート・ワグネル没後

### 125年記念講演会』

堤 憲太郎

ゴットフリート・ワグネルの名をご存じの方は多いと思われるが、先日、2017年11月8日（水）に東京青山のドイツ文化会館において、ワグネル没後125年の記念講演会が開かれた。講演会はワグネルの母国ドイツのOAG・ドイツ東洋文化研究協会とワグネルゆかりの東京工業大学の共催で蔵前工

業会、在日ドイツ商工会議所、ドイツ大使館などの協力と後援でおこなわれ、講師に科学史家でワグネルの研究でも知られる道家達将（東京工業大学特命教授、名誉教授）を迎えておこなわれた。

講演題目は「ゴットフリート・ワグネルの日本における貢献」－日本の陶芸を愛し、近代化・工業化に尽くしたDr. ワグネル－であり、道家教授は

「ドクター・ゴットフリート・ワグネル（Dr. Gottfried Wagener, 1831-1892）は、

ドイツ人で優れた科学者・技術者であり、また陶芸家であって、1868（明治元）年、37歳のとき日本に来て、日本の科学、技術、芸術とくに陶芸の近代的な発展に大きな貢献をし、日本で亡くなった人である。・・・その内容は、従来の経験に基づく日本の陶芸・製陶を、先端的な西洋科学・技術を取り入れることによって質・量ともに飛躍的に高め、より優れた芸術作品、また優れた工業製品を生む基礎を

築いたことである」

と紹介している。講演は夜6時半から始められたが、講演にはワグネルの略年譜が配布され、1831年ドイツ北部ハノーファー（Hannover）での生誕から1892年東京駿河台の自宅で61歳での永眠、青山墓地に埋葬されたことまでかなり詳細に記載された内容に沿う形で約1時間半にわたり丁寧に進められた。ワグネルに就いて概略述べると、ワグネルはゲッティンゲン大学で21歳の時に数学（指導教官ガウス）で博士号を取得

